

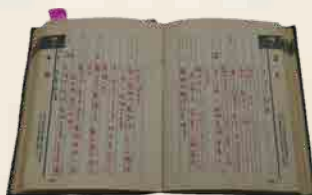
令和8年度  
舞鶴引揚記念館  
企画展

# ウズベキスタンと舞鶴

～抑留から交流へ、深まる絆～



煙草ケース



手記



火打石



ウズベキスタン  
民族衣装

2026

6.20 (sat)

2026

～ 10.25 (sun)

休館日：毎週水曜日 ※祝日の場合は翌平日が休館日

会場：舞鶴引揚記念館 企画絵画展示室

料金：企画展は無料 ※別途入館料が必要



舞鶴引揚記念館

MAIZURU REPATRIATION MEMORIAL MUSEUM



URL：m-hikiage-museum.jp

〒625-0133 京都府舞鶴市字平 1584 番地 引揚記念公園内

TEL：0773-68-0836 FAX：0773-68-0370

# 令和8年度 舞鶴引揚記念館 企画展

## ウズベキスタンと舞鶴

### ～抑留から交流へ、深まる絆～

戦後、旧ソ連時代のウズベキスタンでの抑留の歴史は、時を越え、本年5月27日、リシタン地区との姉妹都市提携という形で実を結びました。どんなに過酷な環境下にあっても失われなかった日本人の誇りと誠実な姿は、ウズベキスタンの人々によって語り継がれ、現地にある日本人抑留者資料館の館長の舞鶴訪問を機に交流へと発展しました。本展では、ウズベキスタンでの抑留の史実を伝える貴重な実物資料などを展示。苦境の記憶である抑留から交流へ、そして未来へと紡がれる「深まる絆」の歩みを紹介します。

#### 主な展示資料



#### 煙草ケース

ナボイ劇場の建設で共に働いたウズベキスタン人から帰国直前にもらった手作りの煙草ケース。



#### 手記

ウズベキスタンで抑留されてから舞鶴港への帰還までが記された日記帳風のノート。



#### 火打石

火を起こすため、石や金属片や紐などの材料を收容所付近で拾うなどして集め持ち歩いていた。



#### 手作りの品々（櫛、スプーンなど）

收容所で手に入る物を材料として工夫を重ねて手作りのもの。



#### ウズベキスタンでの抑留中の服装



#### ウズベキスタン 民族衣装の着用体験

休館日：毎週水曜日(祝日の場合、その翌平日)  
年末年始 12月29日～1月1日

#### 入館料

	一般	学生
個人	400円(200円)	150円(75円)
団体	300円(150円)	100円(50円)
共通券	600円(300円)	200円(100円)

【共通券】 舞鶴引揚記念館・赤れんが博物館にご入館いただけます。

【割引制度】 身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、戦傷病者手帳、被爆者健康手帳をお持ちの方は、受付でご呈示ください。入館料が半額(料金表の○内の金額)になります。

会場：舞鶴引揚記念館 企画絵画展示室

開館時間：午前9時～午後5時まで

(最終入館は午後4時30分まで)

〒625-0133

京都府舞鶴市字平 1584 番地 引揚記念公園内

TEL：0773-68-0836

FAX：0773-68-0370

<https://m-hikiage-museum.jp>



舞鶴引揚記念館

MAIZURU REPATRIATION MEMORIAL MUSEUM